

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会

在宅でのリハビリテーションの 取り組み方

領域別セッション リハビリテーション

“リハビリテーション医学”とは？

“障害”を対象にした
医学的リハビリテーションを実践するための
学問・技術の体系

物理医学
Physical Medicine

種々の疾患により生じた運動・認知機能障害を物理医学的手段により判断・治療する

+

リハビリテーション
rehabilitation

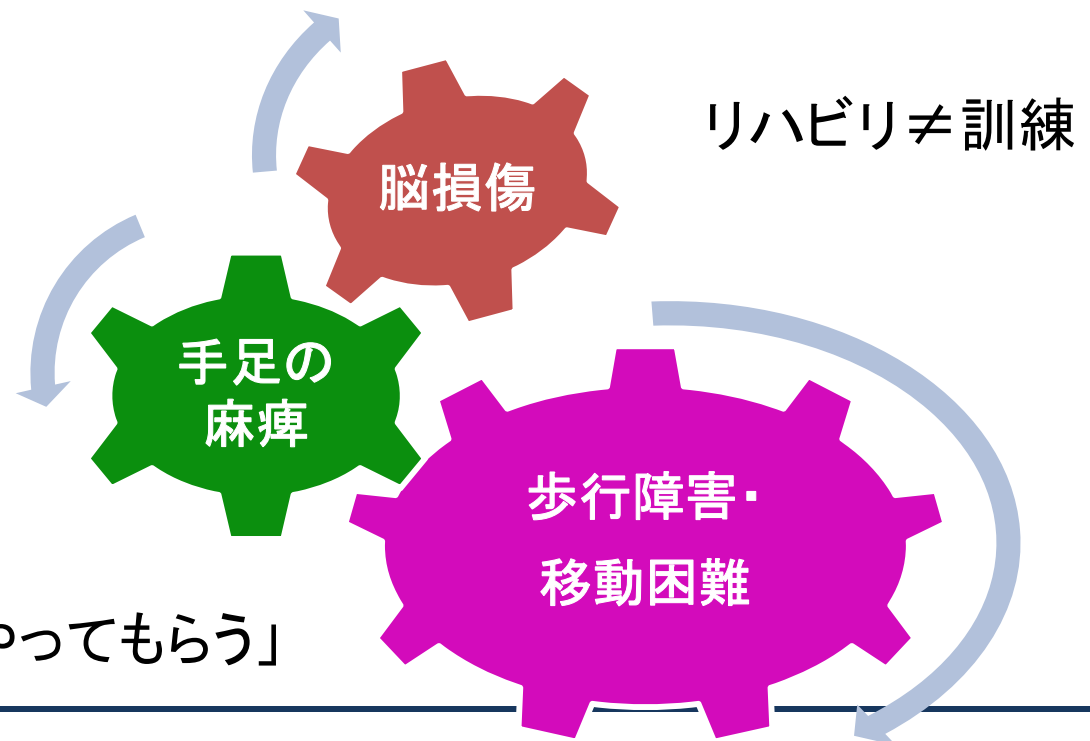
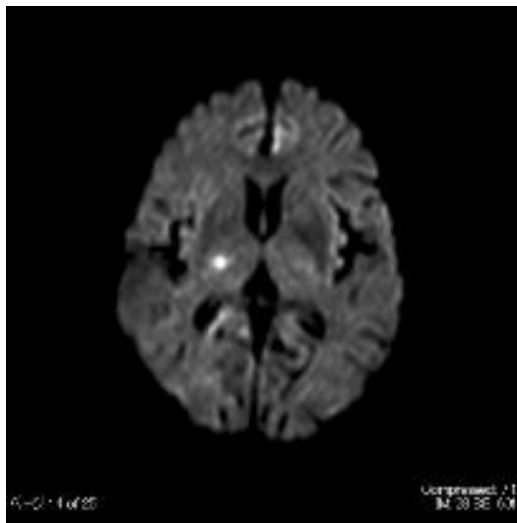
患者を身体的、心理的、社会・職業的に最大レベルまで到達させ、生きがいのある社会生活を送れるように援助する

Physical medicine & Rehabilitation (PM&R)

“出来ること”を足掛かりに“障害”を 包括的に解決します

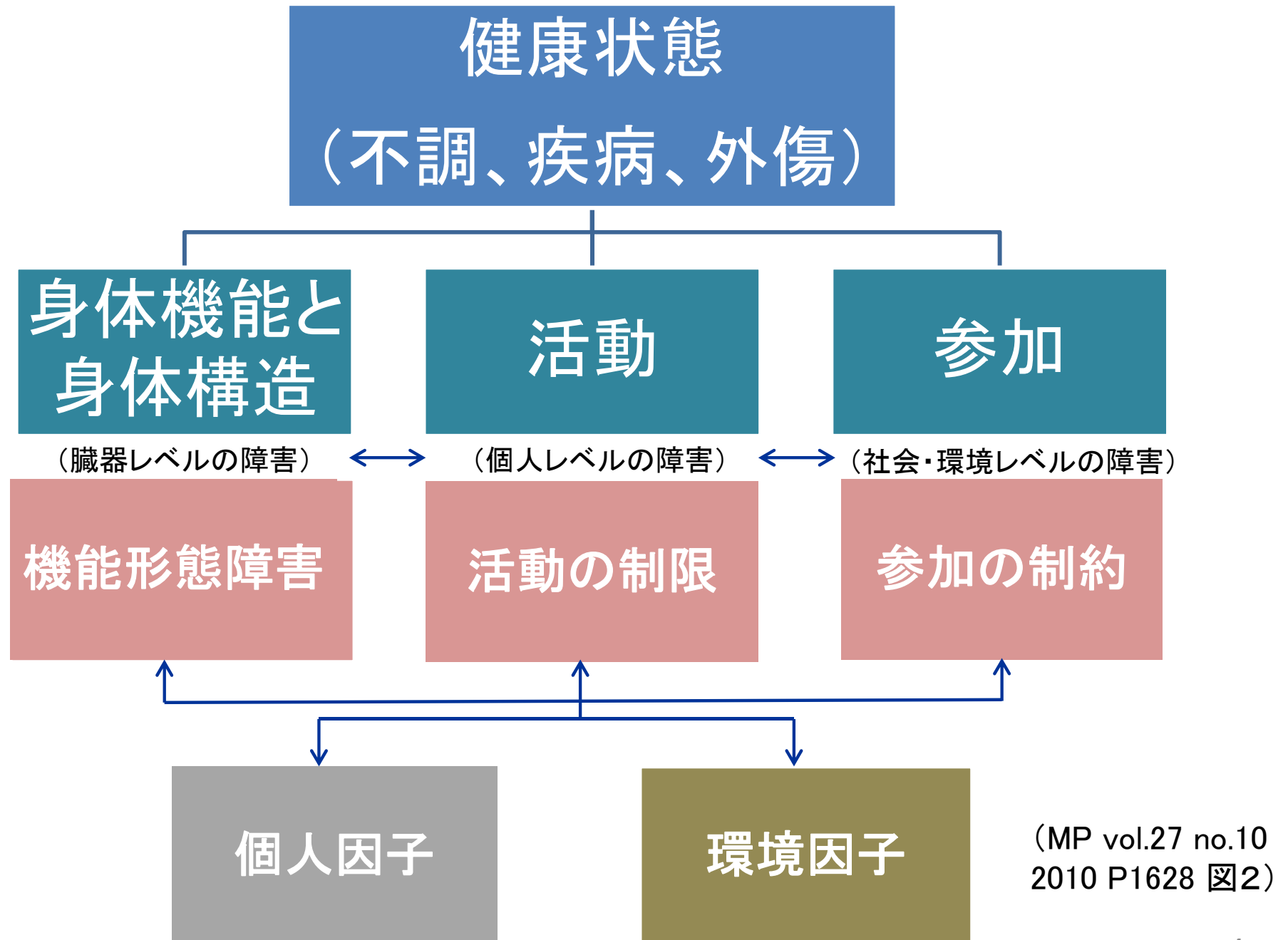
✓ たとえば、「片麻痺(かたまひ)」という“障害”

脳損傷を**治して解決**するのだけが目標ではなく、
手足の麻痺にもアプローチして麻痺改善を促通する、
装具や車椅子なども利用して、**移動手段を新たに**考え出す。



× 「リハの人にやってもらう」

国際生活機能分類 (ICF) モデル



在宅リハビリテーションの最終目標

安心して在宅療養を継続できるように支援する

リハビリテーションの知識・技術を応用して、
要介護者等の自立支援を助け、個人の尊厳を守ること

Maximum functional
recovery

(最大の機能回復)

新たな障害
の予防

介護負担
軽減

QOL向上

在宅リハビリテーションの方法

◎ 対象者の“活動”に注目

対象者の“活動”に注目

⇒ “活動”を妨げるもの＝“障 害”を評価

「生きることの困難」すべて

WHO 2001 国際生活機能分類;ICF

⇒ リハマインドで

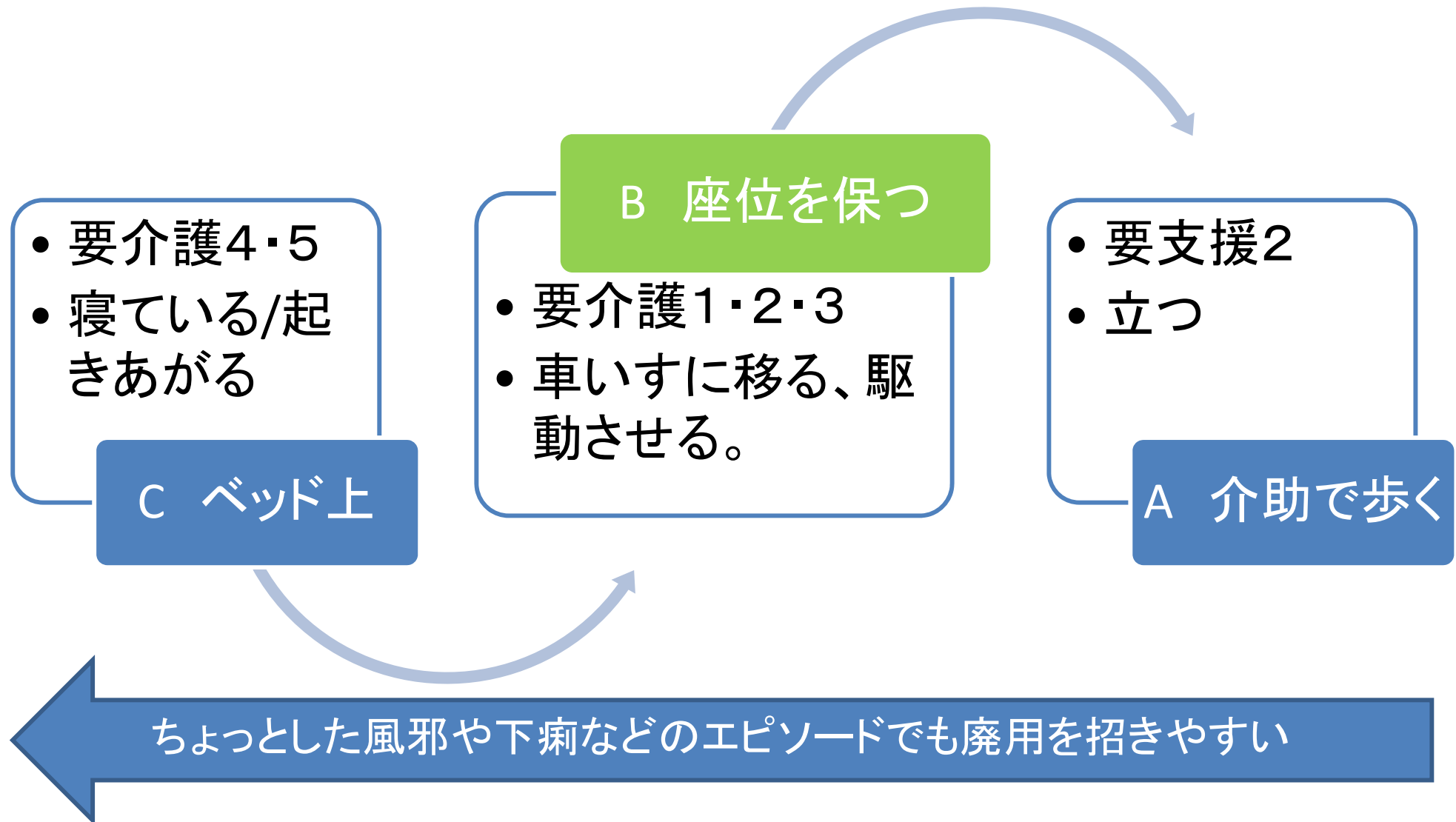
“出来ること(残存能力)”を見守る、強化する

障害程度別リハアプローチ（具体例）

障害の全体像 要介護度	軽度 支援1・2	中等度 要介護1・2・3	重度 要介護4・5
リハビリ介入の目的	フィットネス、体力作り	潜在能力を引き出し、活動範囲を広げる（ADLの拡大）	清潔などのためのケアに役立てる
麻痺・補装具など	装具なし、実用手	歩行目的で杖や短下肢装具が必要	移乗目的で短下肢装具、移動には車いす使用
具体的なリハビリプログラム	ストレッチ、散歩	ストレッチや歩行による体力強化、	ケアに必要な関節可動域確保のため関節可動域訓練
利用可能な介護保険の リハビリテーションサービス	通所リハ 訪問リハ（外出訓練、 復職支援など）	通所リハ 訪問リハ（トイレ、浴室 利用、外出準備）	訪問看護 訪問リハ（ベッド上動作 訓練、介助指導）

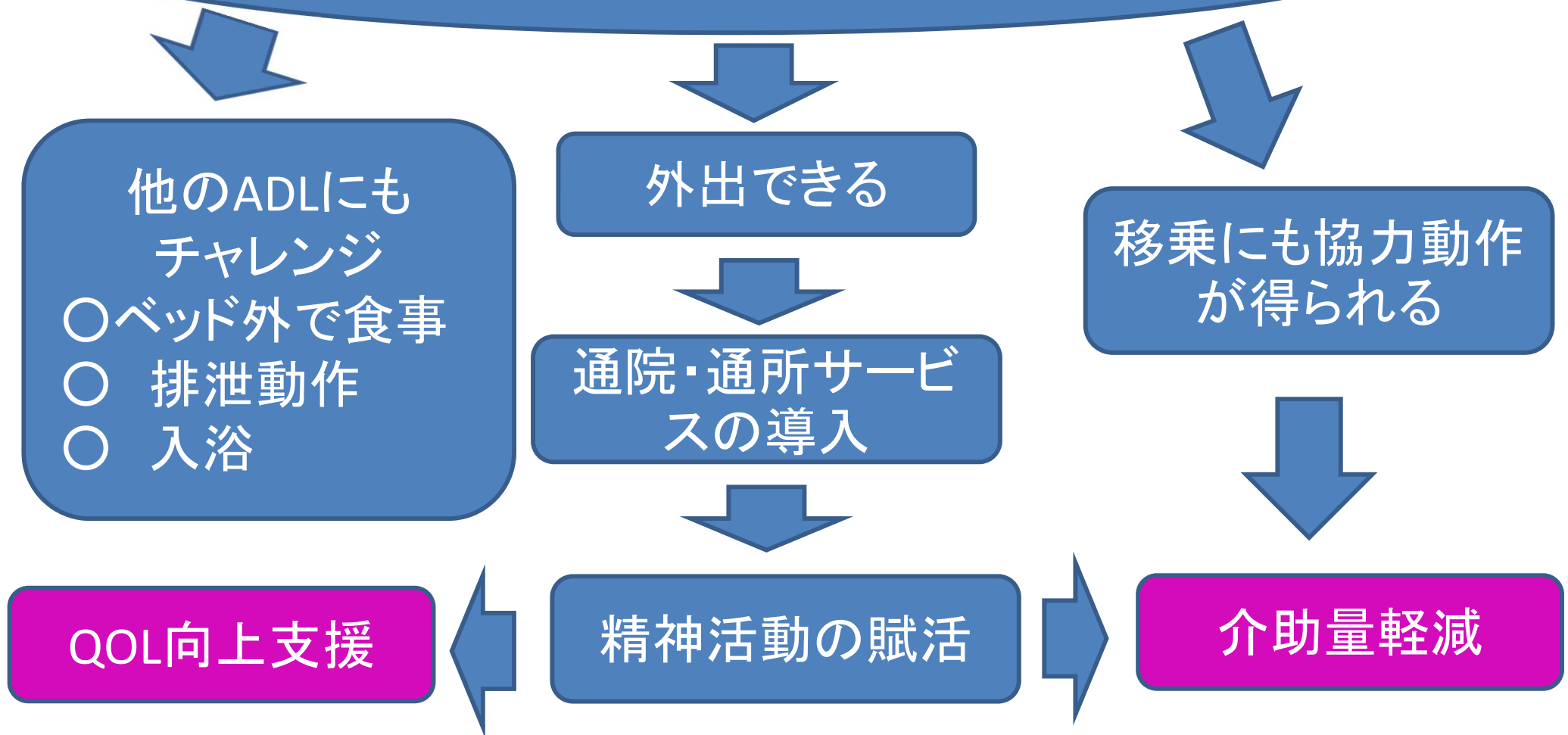
環境設定（福祉用具利用や住宅改修）/
福祉介護その他の社会資源の活用

“在宅でのリハ”は“座位リハ”



“座る”で ADLの拡大が期待されます

安全に、車いすで座位が保てる



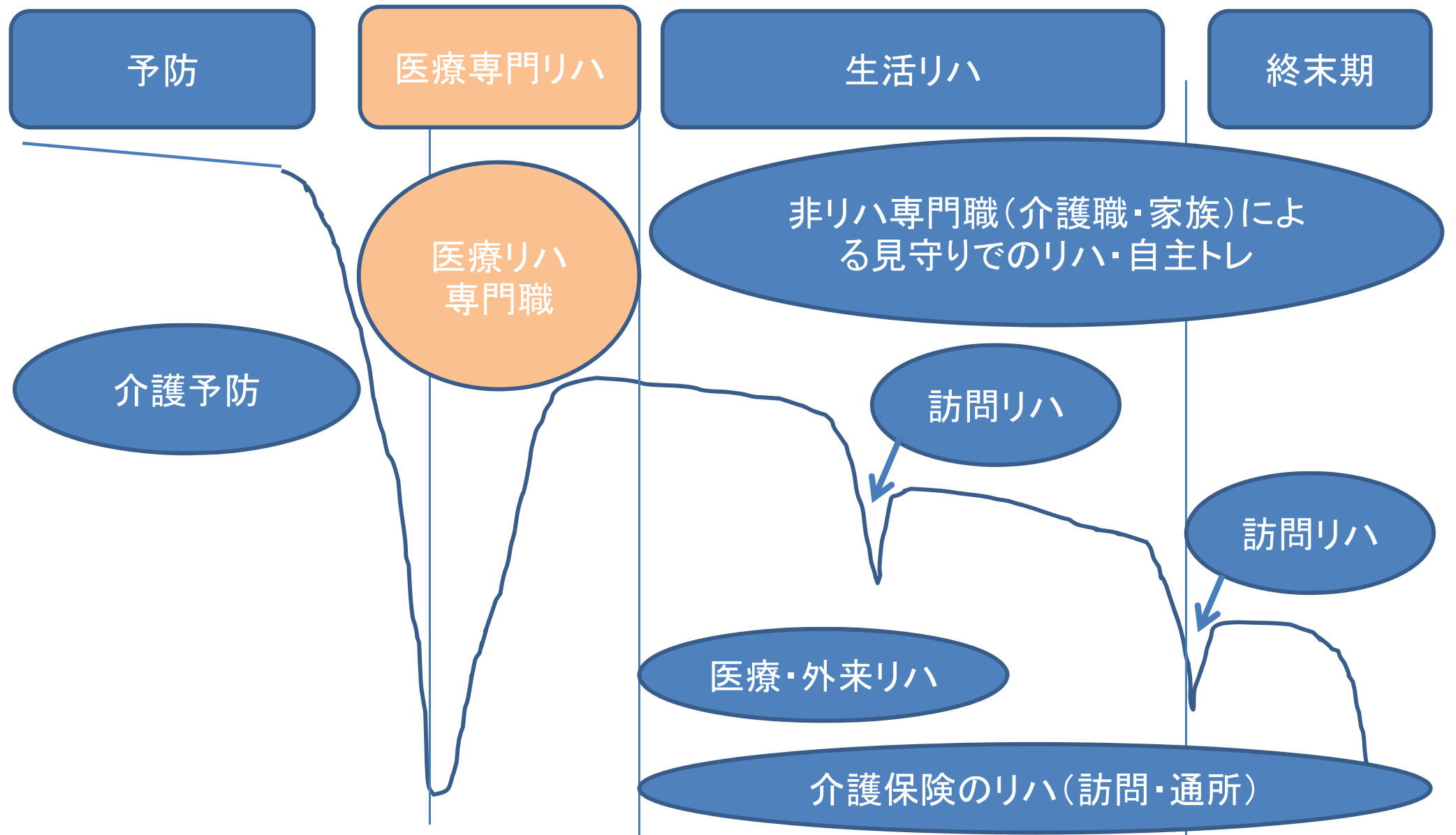
在宅リハビリの主な対象疾患・障害

虚弱高齢者⇨**要介護者**になりやすい:脳血管障害モデル(脳卒中、大腿骨頸部骨折など)、廃用症候群モデル(肺炎後、各種術後・内科疾患後、転倒後など)、認知症モデル

介護保険対象特定疾患:関節リウマチ、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、がん末期など。

その他:小児疾患、精神疾患、脊髄損傷、切断、高次脳機能障害、

“活動”を支援する各ライフステージでの リハビリ: 脳卒中のケース



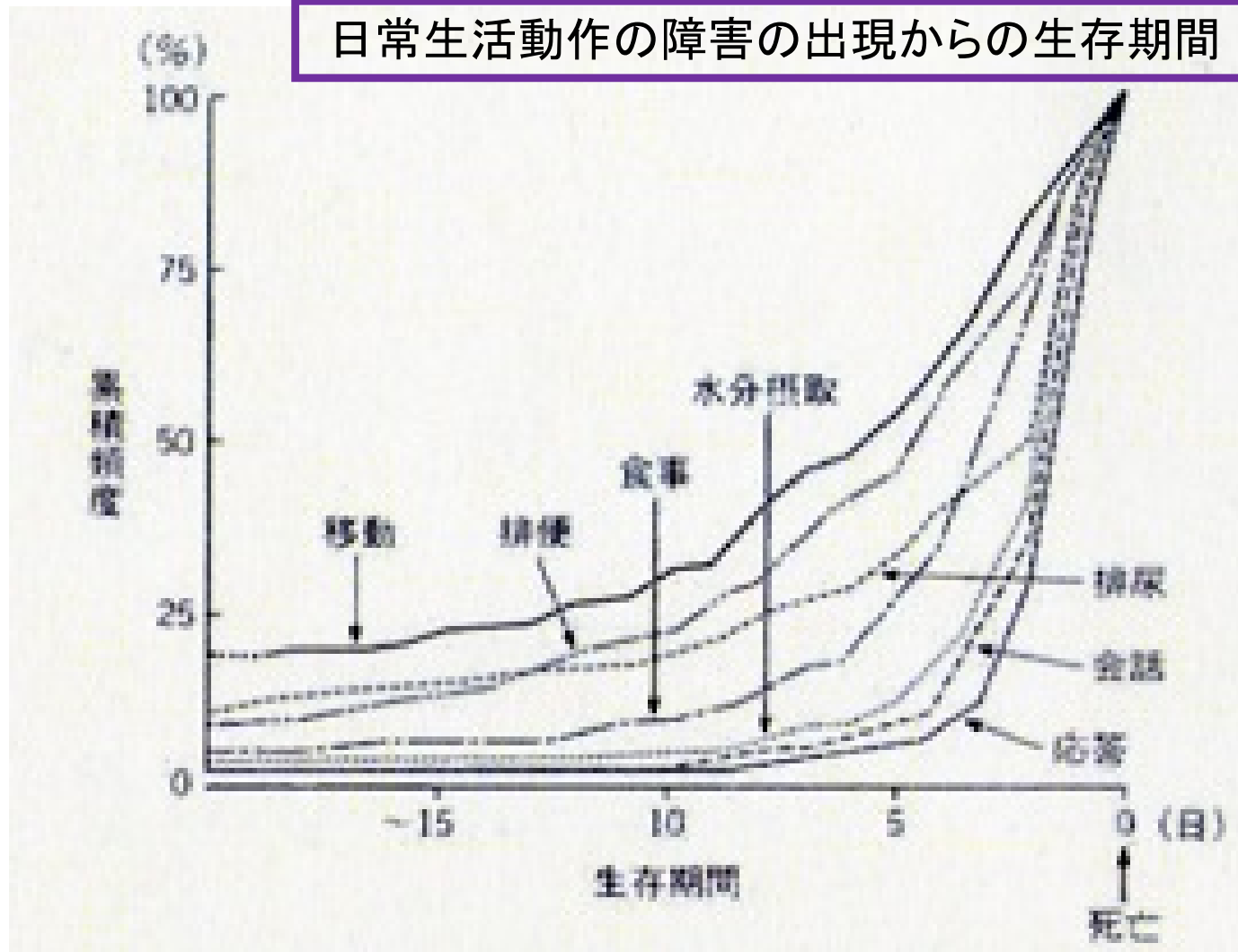
がんのリハビリの分類 (Diezの分類)

リハビリの分類	時期	リハビリの目的
予防的 (preventive)	癌診断後の早期。手術、放射線、化学療法の前から。 ・ 機能障害はまだない。	機能障害の予防
回復的 (restorative)	基本的に、再発・転移はまだない時期。 ・ 機能障害、能力低下が存在。	最大限の機能回復
維持的 (supportive)	腫瘍が増大している時期。再発、転移など。 ・ 機能障害が進行しつつある。	セルフケア、運動能力の維持、改善
緩和的 (palliative)	終末期	QOL改善

(Dietz JH: Rehabilitation Oncology, John Wiley & Sons, New York, US, 1981 から引用、一部改変)

末期がんの方は死亡のかなり直前まで いろいろなことが自分でできている方が多い

日常生活動作の障害の出現からの生存期間



(恒藤 暁:最新緩和医療学、最新医学社、1999より引用)

がんのリハビリの目的と方法 (終末期週・日単位)

疼痛緩和

- 1. 物理療法(温熱、マッサージなど)の活用
- 2. ポジショニング、リラクゼーション
- 3. 補装具、杖

浮腫による症状の緩和

- リンパドレナージ主体

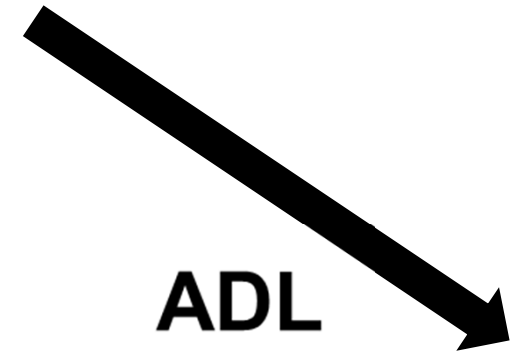
呼吸苦の緩和

- 呼吸法、呼吸介助、リラクゼーション

心理支持

- アクティビティ、日常会話や訪室そのもの

QOL



ADL

緩和的(palliative)
リハビリ

辻哲也：がんのリハビリ研修会より

認知症では気持ちに向くことからきっかけを作る 脳活性化リハビリテーションの原則



「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント」山口晴保編

制度による療法士の訪問サービス

保険種類	訪問主体	算定項目	報酬単価	依頼方法
介護保険 (介護報酬)	・医療機関 ・老健施設	・訪問リハビリテーション費 (「訪問リハビリ1、2」) ・サービス提供体制強化加算	①305単位/1回 (1回20分以上) ②6単位/1回 (条件:3年以上勤務の療法士配置)	診療情報提供書 (「診療情報提供料 I」) ※主治医から3ヶ月毎にリハビリ専門医に対し情報提供
		・短期集中リハビリテーション 実施加算	340単位/1日 (退院・退所日又は新たに要介護認定を受けた日から1月以内) 200単位/1日 (退院・退所日又は新たに要介護認定を受けた日から1月超3月以内)	
	・訪問看護 ステーション	・訪問看護費 (「訪問看護 I -5」) (「訪問看護 I -5・2超」)	316単位 (1回20分) 632単位 (1回40分) 852単位 (1回60分)	
医療保険 (診療報酬)	・医療機関	・在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料 (理学療法士等)	300点/1単位(※1) (1単位20分以上) 255点/1単位(※2) (1単位20分以上)	診療情報提供書 (「診療情報提供料 I」) ※他医療機関に訪問看護・ 訪問リハビリを依頼する 場合に算定可
	・訪問看護 ステーション	・訪問看護基本療養費 I (※1)	週3日目まで 5550円/日 週4日目以降 6550円/日	訪問看護指示書 (「訪問看護指示料」 300点/月1回) ※1日～6か月(最長)が有効期限
		・訪問看護基本療養費 II (※2)	週3日目まで 4300円/日 週4日目以降 5300円/日	
・訪問看護管理療養費 (理学療法士等)	月の初日 7300円/日 月の2日目以降の訪問日 2950円/日			

(※1)・・・同一建物居住者以外の場合 (※2)・・・同一建物居住者の場合

制度による療法士の訪問サービス

例1) 医療機関・老健(介護保険) <週1回、40分(2単位)利用> 墨田区の場合 1単位=10.99円

	退院・退所日または要介護認定日からの日数		
	～1ヶ月未満	1ヶ月以降～ 3ヶ月未満	3ヶ月～
訪問リハビリテーション費	610単位 (305単位x2)	610単位 (305単位x2)	610単位 (305単位x2)
サービス提供体制 強化加算	12単位	12単位	12単位
短期集中リハビリテーション 実施加算	340単位	200単位	—
1回分の利用者負担 (×10.99円×1割負担)	962単位 ÷ 1057円	822単位 ÷ 903円	622単位 ÷ 684円
1ヶ月あたりの利用者負担 (週1回、計4回利用時)	※14228円	3612円	2736円

例2) 訪問看護ステーション(介護保険) <週1回、40分利用> 墨田区の場合 1単位=11.26円

・訪問介護費(「訪問介護 I-5×2」理学療法士等) 632単位 (=316単位×2)

→ 1回分の利用者負担 711円 (=632単位×11.26×1割負担)

【月4回利用】 711円×4回 = 2846円

(※1) 要介護者は週2回、1回40分以上の訪問リハビリが必要なため 8458円

ただし、患者さんのこころは追いつかない： 障害を持つ方たちの思い

どうして病気
になったの？

障害の受容は徐々にできる

昨日歩い
ている夢
をみた

リハビリを
続けていれ
ばよくなる

こんなにがん
ばってるのに

心も支える対応を！
共感をお願いします

まとめ

- リハビリテーションは“障害”マネジメントです。
- “障害”を理解することは“出来ること”をみつけることです。それを軸に“活動”を支援する、その支援全てがリハビリです。
- 在宅でのリハビリテーションの目的は、あらたな障害の予防、介護負担軽減、QOL向上支援または個人の尊厳を守ることです。
- 対象となる状態像は、医療依存度が高く重度化傾向にあります。が、こころとからだの活動を支援するリハビリテーションの立場でさまざまなアプローチが可能です。それぞれの立場で、勇気を持って取り組みましょう。